

学校 de カフェ 10月

Third・Places 研修・2026

アイスブレイクの主な効果③
相互理解が進む：出身地や趣味、卒業した学校など、個人的なことを話す機会もあり、それがきっかけで会話が弾んだり、仲良くなったりすることもあります。それが発言を引き出します。

「認知症かなあ」と思ったら・・・

🌸 認知症になりにくい自分をつくることと

🌸 認知症になった自分を見つめること

日 時 10月25日(日) 10時～12時

10:00～11:30 講演

11:40～12:00 しゃべり場

講 師 門阪 庄三 さん (かどさか内科クリニック)

会 場 宇治市総合福祉会館 211号室

参加費 100円(資料代)

申し込み お名前、電話番号かメールアドレス、を書いてお申込みください。

FAX: 0774-21-7078・Eメール: gcafe804@gmail.com



講師のプロフィール

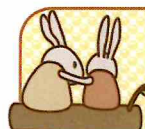
皆さま、門阪です。

医者になったのは39歳の時でした。同期の医師は一回り以上年下の若者でした。彼らに伍してやっていくのは大変でしたが、そうは言っても医学生から研修医の時代は楽しく充実した時代を過ごすことができました。その後、内科医として大学病院を含め4つの病院で勤務した後、宇治市でクリニックを開業いたしました。今はそのクリニックの院長を長男に譲って週2回外来診療を続けています。

メッセージ

2025年が来る前に地域包括ケアシステムを構築しなければと多くの試みがされてきました。多くの課題は残されたまま2025年が過ぎ、私たちが見る風景はつかみどころのない恐怖ともいえるものになってきています。

今日は、多くの人が不安を持って、恐れている認知症のことをお話したいと思います。人生100年時代、認知症と無縁で過ごすことは難しい。認知症になりにくい自分をつくることと認知症になった自分を見つめること、この二つを考えたいと思います。



宇治地域福祉研究所

宇治市小倉町春日森25番地 京都福祉専門学校内

FAX: 0774-21-7078 メール: gcafe804@gmail.com

「学校 de カフェ」は宇治社協助成金で運営しています。